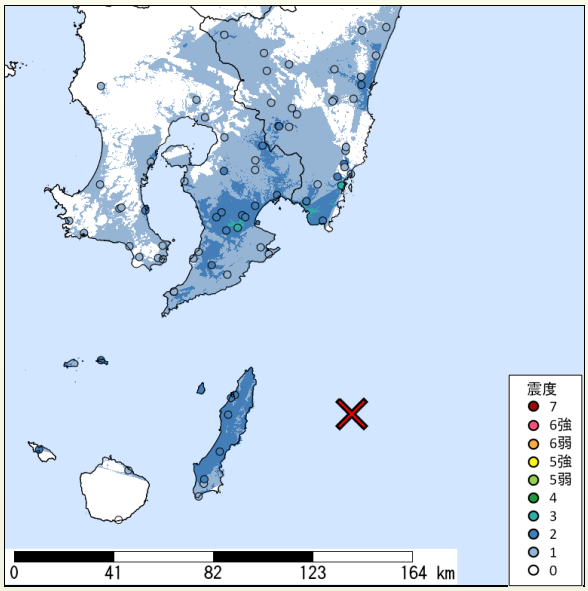
M 5.2, 震源地:大隅半島東方沖, 深さ約40km, 2026/07/17 06:49頃発生 （気象庁発表）

震度の分布　最大観測震度3 (*)



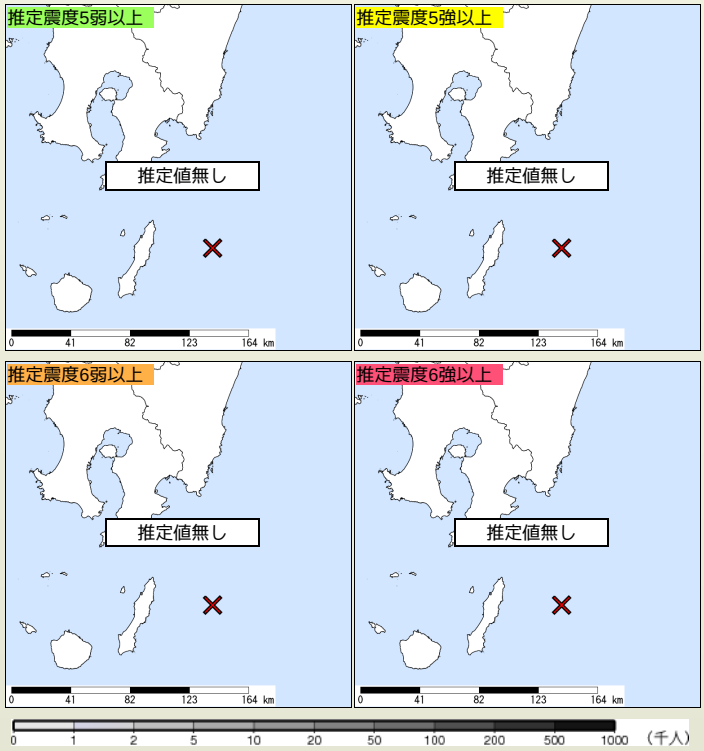
解析開始時点(2026/07/17 06:55:41)で収集されている防災科研K-NET, KiK-net, 気象庁, 地方公共団体震度計の計測震度データを利用。（＊）気象庁発表の情報と一致しない場合がある。 一部正式な震度観測点ではない観測点を含む。暫定的な震度値を含む。丸印は観測、塗りつぶしは推定データ。×印は震央位置。 他の図表も同様。

主要都市の推定震度　（都市の最大観測震度と人口を考慮して掲載）

最大(*)観測震度	推定震度頻度分布 1 2 3 4 5- 5+ 6- 6+ 7	市区町村名	全人口：夜間 (人)	震央距離 (km)
3		鹿児島県肝属郡肝付町	16,000	89
3		宮崎県日南市	54,000	101

最大観測震度は、各市区町村内で観測された最大震度。観測された計測震度を250mメッシュで補間し、市区町村ごとに推定震度頻度分布を作成した。報開始時刻が9:00-18:59のとき昼間人口、19:00-8:59のとき夜間人口を示し、平成27年国勢調査、平成26年経済センサス-基礎調査等のリンクによる地域メッシュ統計を二桁精度になるよう四捨五入した。震央距離は震央から各市区町村中心部までの距離。

行政区ごとの震度遭遇人口　（各震度階級の揺れに遭遇した人口を考慮して掲載）



補間した250mメッシュの推定震度分布と、250mメッシュに細分化した平成27年国勢調査、平成26年経済センサス-基礎調査等のリンクによる地域メッシュ統計を重ね合わせ、各行政区の震度遭遇人口を推計した。

震度5弱以上の震度遭遇人口の推定値が無い場合、
震度遭遇人口は表示されません。

この地域で起こった過去の主な被害地震

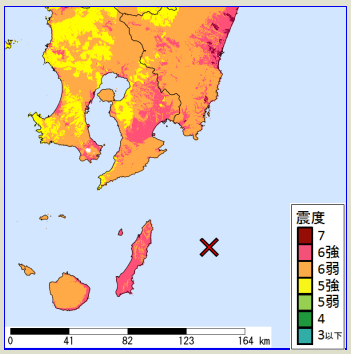
発生年	地震名	M	被害
1662	日向・大隅	7.5～7.8	日向灘沿岸に被害．城の破損，潰家多く，死者があった．山崩れ，津波を生じ，宮崎県沿岸7ヶ村周囲7里35町の地が陥没して海となった．日向灘の地震の中でも特に被害が大きかった．
1961	日向灘	7.0	宮崎・鹿児島両県で死2，建物全壊3．九州から中部の沿岸に津波，波高は最高50cm．

出典：国立天文台編「理科年表 平成29年」, 丸善出版 (2016), 一部表現を割愛

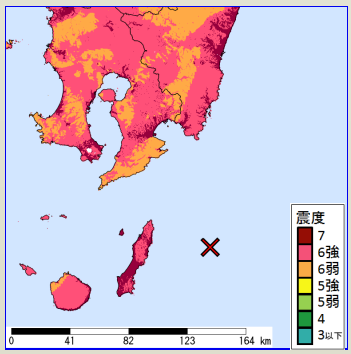
J-SHISから公表している地震ハザード情報

防災科研が公開するJ-SHISでは、ある地点に対し影響を及ぼす全ての地震を考慮し、その地点が大きな地震動に見舞われる危険度、すなわち地震ハザードを評価しています。（2024年地震ハザード評価）

50年間超過確率2%の計測震度分布



再現期間50000年相当の計測震度分布



国立研究開発法人 防災科学技術研究所 (c) 2013